



フォーラム 「社会包摂 ×アート／音楽 ×高齢社会」

近年、障害者芸術に関する法整備が進むなど、アートが持つ包摂性に着目した活動への関心や需要が高まっています。その一方で、多くの実践現場では「社会包摂につながるアート活動」にどのように向き合うべきなのか、どうしたらより質の高い内容が実施できるのか、今なお模索しています。

そこで、東京文化会館では音楽やダンスなどのパフォーミングアーツに焦点をあてながら「社会包摂につながるアート活動」を実践する上で、理解しておきたい事柄を整理するためのレクチャーやスキルアップ・トレーニングを実施いたします。

本フォーラムでは、東京都美術館と連携し、社会包摂や高齢社会に精通した第一人者を迎え、この領域における現状や課題を整理するとともに、音楽やアートが社会に果たしうる役割や可能性を問い直します。

日時

(令和元年) 2019年10月22日(火・祝) 14:00-16:00 [受付開始13:30]

会場

東京都美術館 アートスタディールーム [〒110-0007 東京都台東区上野公園8-36]

定員・料金

先着60名様[9月23日申込開始] 聴講無料

お申込み

Peatix申込ページ<<http://tbk19forum.peatix.com>>より詳細をご確認のうえお申込みください。



レクチャー#1

「社会包摂ことはじめ」 中村美亜 (芸術社会学/九州大学大学院芸術工学研究院准教授)
わかるようで、よくわからない「社会包摂」。アートや音楽の本源的な役割を見つめなおすことから、包摂的な社会を目指すときにこれらが果たしうる可能性について考えます。

レクチャー#2

「人生100年時代とアート／音楽」 日下菜穂子 (高齢者心理学/同志社女子大学現代社会学部教授)
目指すはワンダフルエイジング。高齢期を豊かに生きるために、アートや音楽の創造性と生きがいの関係について考えます。
[東京文化会館の高齢者向け音楽ワークショップの事例紹介あり]

クロストーク

「アート／音楽×高齢社会」 日下菜穂子、中村美亜
多元的共生社会の実現、そして生き生きとした人生を歩み続けるために、アートや音楽が担える社会的役割を考えます。

講師プロフィールは東京文化会館HPに掲載しております。

お問合せ ● 東京文化会館 事業係 ☎ 03-3828-2111(代表) t-bunka.jp tbunka_official

主催：東京都/公益財団法人東京都歴史文化財団 東京文化会館・アーツカウンシル東京
連携：公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都美術館
助成：一般財団法人地域創造

文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業)
独立行政法人日本芸術文化振興会

文化庁

芸術文化のあたらしい出会い



文化でつながる。未来とつながる。

Tokyo Tokyo FESTIVAL

※10月24日より多様な人々と豊かな音楽活動を行うためのトレーニングも開始します。詳細は東京文化会館HPをご覧ください。